

## 剰余金についての実施状況報告

基本協定書第42条において定められている「毎事業年度の収支において剰余金（税引後の当期純利益をいう。）が生じた場合は、剰余金の額に100分の10を乗じた額以上の額を次事業年度において地域リハビリテーションの充実のために充てなければならない」との項目に関する令和2年度の報告を致します。

結論から申しますと、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大による影響から、ほとんどの活動を実施することができませんでした。

令和元年度当期純利益(剰余金)・・・104,339,389円

令和2年度 地域リハ充実費用・・・10,433,939円以上

### ■令和2年度における地域リハ充実費の活用について

- ① 開院から現在まで無料で行っている当院退院患者への退院後フォローアップ外来を引き続き無料にて継続を実施すべく、地域リハ充実費を活用する。

事前に計画した使用予定額 112.9万円

#### ■実施結果■

当院退院患者に対し、無料でリハビリに関するフォローアップを行なったが、コロナ影響によりほとんど実施できなかった。

フォローアップ件数 15件

報酬相当額 12.4万円

人件費相当額 4.5万円 合計 **16.9万円・・・・・・・・①**

- ② 市内回復期病院の連携の会の事務局を当院で担い、研修活動や、募集状況の取りまとめを行うことで、市内回復期病院間での連携を深め、各病院の質の向上を目指す。

事前に計画した使用予定額 73.0万円

#### ■実施結果■

船橋市回復期リハ病棟連絡会 コア会議を年1回、研修（当院主催）を年1回行なった。

・コア会議1時間分人件費・・・2,500円×1.2時間×2人×1回⇒0.6万円

・研修参加1時間分人件費・・・2,500円×1時間×10人×1回⇒2.5万円

・事務局議事録・開催案内・資料作成人件費・・・2,500円×10時間×3名⇒7.5万円

ミーティング及び研修会人件費として、**10.6万円を要した・・・・・・・・②**

## 【活動内容】

構成病院 ・千葉徳洲会病院・船橋二和病院・セコメディック病院・船橋総合病院・下総病院  
 ・東船橋病院・船橋市立リハビリテーション病院

体制 代表：千葉徳洲会病院 池田喜久子医師 、 事務局：船橋市立リハビリテーション病院

令和2年1月22日 WEB開催にて、コア会議を開催。参加者17名。自己紹介と感染対策の現状共有、次回研修の内容を確認。令和3年2月22日、WEB開催にて「ミニレクチャー～回復期リハ病棟における新型コロナウイルスクラスター対応勉強会」というテーマで当院感染対策チームが講演。勉強会の開催案内や資料作成等を行い、事務局機能として活動し、その為の person 費が上記②の金額となった。

③ 病院見学会の実施 地域の民生委員や病院等に向けた見学会を実施し充実したリハビリ体制を説明する。

事前に計画した使用予定額 114.7万円

## ■実施結果■

外部（民生委員、自治会、社会福祉協議会、在宅介護支援センター）の方を招いたオープンホスピタル、他回復期リハビリ病院や紹介元急性期病院へ向けた見学会については一切実施できなかった。

かかった費用としては、0円・・・・・・・・・・③

④ 退院前の家庭訪問 多くの患者・利用者に対して家庭訪問を実施し、家庭環境の改善を提案することで、家族をはじめ、業者・近隣住民へリハビリの環境整備の重要性を説く。

事前に計画した使用予定額 297.0万円

## ■実施結果■

合計397件の家庭訪問をおこなった。（1回あたり2時間、1人～2人で訪問。平均1.25人）  
 家庭訪問1人1回あたりの人件費・・・1650円×1.25人×2時間×397件⇒約163.8万円

家庭訪問費用として、163.8万円の費用を要した・・・・・・・・・・④

- ⑤ 地域会議への参加活動 リハビリに関する会議を数多く行い、多職種へリハビリの重要性を説く。

事前に計画した使用予定額 107.3 万円

■実施結果■

参加者の1回あたり人件費 1650 円×1 時間×229 件⇒約 37.8 万円

37.8 万円の人件費を要した・・・・・・・・・・⑤

- ⑥ 地域連携推進委員会の活動 委員会の活動を通し、市内施設職員や、一般住民へリハビリの重要性を説く。

事前に計画した使用予定額 64.4 万円

■実施結果■

- ・委員会・・・・・・・・6 回×0.5 時間×5 名×2,500 円(時間外勤務のため)⇒3.8 万円
- ・施設間交流・・・・・・・・開催なし
- ・福祉フェスティバル・・・・・・・・開催なし
- ・夏見地区福祉祭り・・・・・・・・開催なし

地域連携推進委員会の人件費としては、3.8 万円を要した・・・・・・・・⑥

- ⑦ 市民公開講座 患者家族教室と市民公開講座にてリハビリの重要性を説く。

事前に計画した使用予定額 135.8 万円

■実施結果■

新型コロナウイルス感染症の影響により、患者家族教室および市民公開講座は開催できなかった。

患者家族教室の運営にかかった費用としては、0 円・・・・・・・・⑦

- ⑧ 地域交流会 患者・家族・近隣住民に向けて交流できる場を設け、様々な交流を生み、リハビリの重要性を説く。また、リハビリ相談等の対応を行う。

事前に計画した使用予定額 115.0 万円

■実施結果■

R2 年度は、開院以来毎年実施していた夏祭りおよび餅つき大会を開催できなかった。

かかった費用としては、0 円・・・・・・・・⑧

⑨ 市内中学校の職場体験 市内複数の中学校より、職場体験の依頼を受け、実施する。

事前に計画した使用予定額 41.8 万円

■実施結果■

R2 年度は実施できなかった。

かかった費用としては、0 円・・・・・・・・・・⑨

実施結果	予定金額	使用金額
① 退院フォローアップ外来	112.9 万円	16.9 万円
② 市内回復期病院間での連携	73.0 万円	10.6 万円
③ 病院見学会の実施	114.7 万円	0 万円
④ 退院後の家庭訪問	297.0 万円	163.8 万円
⑤ 地域会議への活動参加	107.3 万円	37.8 万円
⑥ 地域連携委員会の活動	64.4 万円	3.8 万円
⑦ 市民公開講座	135.8 万円	0 万円
⑧ 地域交流会	115.0 万円	0 万円
⑨ 市内中学校の職場体験	41.8 万円	0 万円
合計	1061.9 万円	232.9 万円

基本協定書第 42 条より、令和 2 年度に地域リハ充実費用に充てるべき金額は 10,433,939 円以上であり、事前に約 10,619,000 円を計画しておりましたが、実際に使用できた金額は 2,329,000 円でした。

結果として、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により基本協定書第 42 条の項目を遵守できなかったことをご報告致します。

以上